資料　２

南渡島保健医療福祉圏域連携推進会議 糖尿病対策専門部会

〈 書面開催による報告（３月１２日）〉

（１）糖尿病に関する普及啓発の実施状況について

・管内市町及び関係団体の普及啓発の実施状況について報告した。

（２）糖尿病性腎症重症化予防に係る取組状況調査結果について

・北海道保健福祉部健康安全局国保医療課による全道各市町村の取組状況についての調査（令和元年７月実施）結果について報告した。

・令和２年度以降実施予定と回答した知内町は、令和２年２月に糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定したことについて情報提供。

（３）南渡島圏域特定健診受診状況等について

・圏域内の各市町の特定健診受診率、特定保健指導実施率や男女別及び年代別特定健診受診率について報告した。

（４）糖尿病の連携を考えるシンポジウムについて

・市町や介護従事者と糖尿病診療に係る医療従事者等が継続した糖尿病療養者の支援の重要性について理解を深め、地域医療連携の促進を図ることを目的として令和元年11月28日開催したことについて報告した。

（５）南渡島地域推進方針進捗状況について

・今年度の進捗状況について報告した。

（６）糖尿病連携手帳の提示促進資材（三角柱）の配布について

・　道では、糖尿病連携手帳を活用した医療連携の推進を目指し、北海道総合保健医療協議会地域専門委員会糖尿病小委員会において、旭川地区糖尿病地域連携協議会の取り組みをモデルとし、当該手帳の提示促進資材（三角柱）を作成。この資材を管内（函館市含む）医療機関（病院・診療所・歯科医院）へ送付する。併せて資材の活用状況調査を行う。

なお、歯科保健医療専門部会（書面開催）において、資材の配布について報告した。

（７）令和２年度（2020年度）の取組について

○　糖尿病重症化予防、医療連携等をテーマにした講演会等の開催を予定。

○　糖尿病重症化予防対策による健康教育の実施。

○　普及啓発状況調査、糖尿病連携手帳の提示促進資材（三角柱）の活用状況調査等、糖尿病関連に関わる各種調査を実施。

【委員の意見等】

・　道南の糖尿病性腎症重症化予防に係る取組状況が、北海道の中でかなり低いと感じた。

・　シンポジウムでは、参加者から様々な意見があり、有意義な会であった。参加者のアンケート結果等から多職種が集まるシンポジウムを今後開催する上で、取り入れたら良いと思われる事項もあり今後の参考になると思われる。

・　書面開催となったので、報告事項について委員で検討ができず残念だった。